

大型台風による港湾施設の被害低減方策の検討

廣瀬紀一*・菊地洋二**・溝口誠***・服部千佳志****

* (財) 沿岸技術研究センター 調査部 主任研究員

** (財) 沿岸技術研究センター 調査役

*** 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾危機管理官

**** 前 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 課長補佐

概要

伊勢湾台風から50年を経過する伊勢湾・三河湾に位置する港湾において、伊勢湾台風級の超大型台風が来襲した場合に起こりうる現在の防災レベルでの浸水被害や経済的損失を沿岸域の高潮浸水シミュレーションおよび立地企業ヒアリング等から検討した。さらに、大型台風による被害の低減方策について検討した。

キーワード：台風、高潮、伊勢湾、三河湾

表-1 災害シナリオの検討ケース

	想定台風		潮位
	規模	コース	
シナリオ① (計画条件)	伊勢湾台風級	伊勢湾台風コース	台風期平均満潮位
シナリオ② (基本条件)	伊勢湾台風級	伊勢湾台風コース	朔望平均満潮位

地形：平成20年度末時点

海岸保全施設 延長・天端高：計画条件

越流：推算潮位が施設天端高を超えた場合

越波量：各海岸の許容越波量を考慮

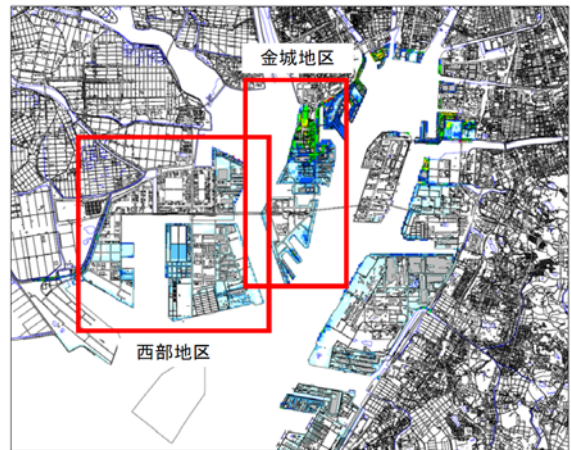


図-1 被害想定範囲 (名古屋港)

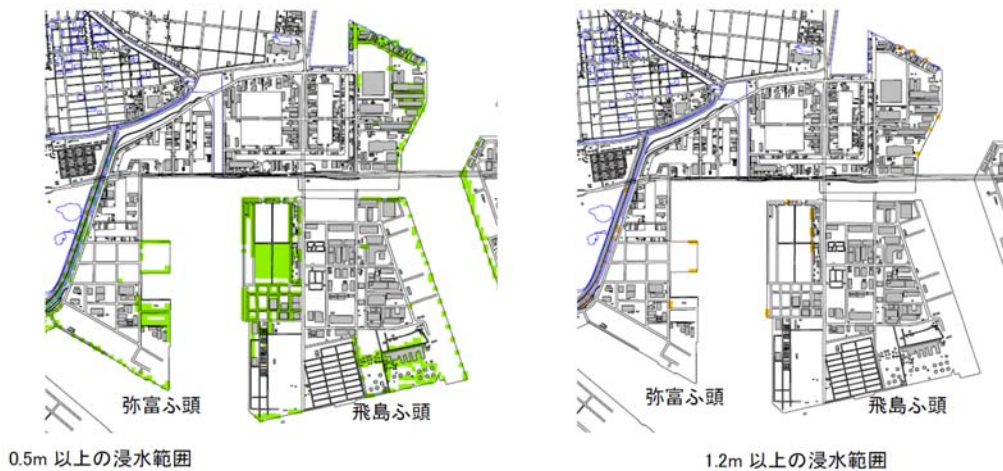


図-2 浸水深別の浸水範囲 (西部地区)